

日本ビジネス公務員専門学校

教育情報

1. 学修状況の確認方法

- ・定期考査、確認テスト、課題、報告書、研究発表等で学習状況を確認します。
- ・担任との面談を実施し、学習状況（単位の取得状況、出席状況、健康状態等）を確認します
- ・各授業の理解度を確認するために授業の最後にC-Learningでの確認テスト、アンケート調査を実施します。

2. 学修支援体制

- ・成績優秀者への奨励や表彰をします。
- ・成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図ります。
- ・各科目の授業期間中において、課題、レポート、確認小試験等を課し、フィードバックに努めます。
- ・ビジネスにおける情報収集力や発信力を高めるため、プレゼンテーションやディスカッション、ディベート、プログラミングなどの体験型学習を積極的に取り入れます。
- ・能動的学習の充実のため、アクティブ・ラーニング、及びプロジェクト・ベースト・ラーニングなどの体験型学習の機会を積極的に取り入れます。
- ・質問のある学生には放課後等に担当する教員が対応します。
- ・担任制を実施し、責任を持って、助言、修学指導を行います。
- ・自己診断等を実施し、学生自身の適性を認識し、将来の進路選択の参考にしています。
- ・C-Learning を活用し、授業のアンケート実施し、理解状況を把握しています。
- ・選択授業を実施し、学生の進路に合わせて、授業カリキュラムの作成を可能にしています。
- ・校内奨学生制度があり、経済的に就学が困難な学生に対し、奨学生として認定し、幅広く就学する機会を提供しています。

3. 学外試験検定資格取得状況

例年、全ての検定資格試験で全国合格率を大きく上回っています。

4. 受賞・表彰状況

- ・校内表彰（成績優秀者に対し「奨励賞」、努力した学生に「努力賞」、年間を通じて皆勤者に「皆勤賞」）を表彰します。
- ・外部団体表彰（各外部団体の表彰基準に該当する場合は表彰を行っています。）

5. 修学時間の傾向

医療ビジネス科

講義授業47%、演習授業22%、実習授業30%

医療事務系科目64%、ビジネス系科目22%、就職・職業体験系科目12%

医療秘書科

講義授業46%、演習授業29%、実習授業26%

医療事務系科目71%、ビジネス系科目17%、就職・職業体験系科目12%

総合ビジネス科

演習授業（51%） 講義授業（40%） 実習授業（7%） 実技授業（2%）

資格・検定取得授業(83%) その他（17%）

経理ビジネス科

演習授業（42%） 講義授業（52%） 実習授業（5%） 実技授業（1%）

資格・検定取得授業(93%) その他（7%）

情報ビジネス科

演習授業（37%） 講義授業（37%） 実習授業（25%） 実技授業（1%）

資格・検定取得授業(93%) その他（7%）

システム開発系授業(60%) デザイン系授業(30%) その他(10%)

公務員科

公務員教養試験科目77.2%（うち模擬試験85.0%）、面接対策9.5%、公務員研究4.6%、ビジネス系8.7%

公務員専攻科

公務員教養試験科目71.3%（うち模擬試験44.9%）、面接対策10.7%、公務員研究13.8%、ビジネス系4.2%

6. 成長実感、満足度、就学意欲

卒業時アンケート結果

自己の成長実感

成長したと思う	どちらとも言えない	成長したと思わない
93.5%	6.5%	0.0%

学校生活の充実度

充実していた	どちらとも言えない	充実していなかった
93.5%	6.5%	0.0%

専門知識・技能の修得度

修得できた	どちらとも言えない	修得できなかった
95.7%	4.3%	0.0%

教員は指導に熱意を持っていた

持っていた	どちらとも言えない	持っていなかった
100.0%	0.0%	0.0%

7. その他の特徴

学科の特徴は、学生と先生の距離が近いことです。学生からの質問や相談には親身な対応を心掛けています。距離の近い対応は、資格取得や就職内定に表れています。